

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公開番号】特開2003-325191(P2003-325191A)

【公開日】平成15年11月18日(2003.11.18)

【出願番号】特願2003-94744(P2003-94744)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 Q 1/527 (2006.01)

C 12 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 Q 1/527

C 12 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月25日(2006.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号1～33、35～36及び38～41から成る群から選択された遺伝子の組み合わせにおける単離された核酸配列、それらの補体又はそれらの一部を含んで成る診断ポートフォリオ。

【請求項2】そこに含まれる遺伝子の差発現を同定するために適切なマトリックスにおける請求項1記載の診断ポートフォリオ。

【請求項3】前記マトリックスが、マイクロアレイに使用される請求項2記載の診断ポートフォリオ。

【請求項4】前記マイクロアレイが、cDNAマイクロアレイである請求項3記載の診断ポートフォリオ。

【請求項5】前記マイクロアレイが、オリゴヌクレオチドマイクロアレイである請求項3記載の診断ポートフォリオ。

【請求項6】配列番号1～33、35～36及び38～41から成る群から選択された遺伝子の組み合わせにおける単離された核酸配列、それらの相補体、又はそれらの一部を含んで成る診断ポートフォリオ。

【請求項7】配列番号1～33、35～36及び38～41から成る群から選択された遺伝子の組み合わせにおける単離された核酸配列、それらの相補体、又はそれらの一部を含んで成る、結腸直腸癌の診断のためのキット。

【請求項8】マイクロアレイ分析を行うための試薬をさらに含んで成る請求項7記載のキット。

【請求項9】媒体をさらに含んで成り、それを通して、前記核酸配列、そらの相補体又はそれらの一部がアッセイされる請求項7記載のキット。

【請求項10】配列番号1～33、35～36及び38～41から成る群から選択された遺伝子の組み合わせにおける単離された核酸配列、それらの相補体又はそれらの一部を含んで成る結腸直腸癌状態の評価のための製品。

【請求項11】配列番号1～33、35～36及び38～41から成る群から選択された遺伝子の組み合わせにおける単離された核酸配列、それらの相補体又はそれらの一部の代表を

含んで成る結腸直腸癌状態の評価のための製品。